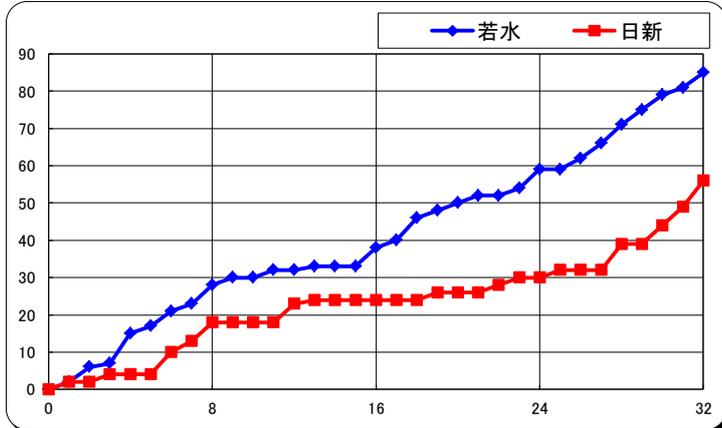




【得点経過】



【BOXスコア】

Team A		若水					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	須田 桃香	×	25	3	7	2	1
5	川口 友香	×	12	0	6	0	5
6	粥見 奈由	×	10	0	5	0	0
7	服部 夏実	×	8	0	4	0	1
8	清水 碧	/	2	0	1	0	0
9	二宮 知紘	/	2	0	1	0	0
10	中島 彩衣	/	1	0	0	1	1
11	磯部 らな	DNP	0	0	0	0	0
12	梶原 希歩香	DNP	0	0	0	0	0
13	米納 京香	DNP	0	0	0	0	0
14	成田 夏乙	/	4	0	2	0	0
15	馬瓜 スターニー	×	21	0	8	5	4
16	東 優衣	DNP	0	0	0	0	0
17	岡田 真那美	/	0	0	0	0	0
18	大河内 美衣奈	DNP	0	0	0	0	0
監督	西澤 一真						0
コーチ	儀満 かおり						0
合計			85	3	34	8	12

Team B		日新					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	藤永 望花	×	11	1	3	2	3
5	山下 理帆	×	14	0	7	0	0
6	和田 理希	×	13	3	2	0	4
7	板谷 花菜	/	0	0	0	0	1
8	村崎 光	DNP	0	0	0	0	0
9	池田 涼香	×	8	2	1	0	1
10	中村 桜花	×	5	1	0	2	2
11	長谷川 杏樹	DNP	0	0	0	0	0
12	和泉 沙也加	/	5	0	2	1	2
13	進藤 吏花	DNP	0	0	0	0	0
14	小山 純奈	DNP	0	0	0	0	0
15	高橋 美晴	DNP	0	0	0	0	0
16	花口 花麗	DNP	0	0	0	0	0
17	西谷 晴夏	DNP	0	0	0	0	0
18	村崎 怜	DNP	0	0	0	0	0
監督	重田 稔						0
コーチ	友利 彩子						0
合計			56	7	15	5	13

【戦評】

決勝進出をかけた、東海ブロック代表若水と、中国ブロック代表日新の一戦。1Q、若水はオールコート2-2-1ゾーンDef、日新はオールコートマンツーマンDef。立ち上がり日新#10がフリースローを落ち着いて2本決め、試合が始まる。対する若水は#4がOffリバウンドに飛び込み得点、更に#15の高さを生かして得点を重ねる。ここで日新タイムアウト。しかし、若水は#4、#15を中心にOffを組み立て得点を重ねていく。日新がオールコートでプレッシャーをかけてボールを奪い#4が得点し、若水タイムアウト。その後、日新は#6、#4の連続3Pで点差を縮める。すかさず若水#4が3Pを決め若水28-18日新で1Q終了。2Q、お互いに堅い守りで簡単に得点を許さない。日新は気迫のこもったDefからの速攻で#5の得点、#9の3Pで得点を重ねる。3分30秒、若水のチームファウルが5つとなり、日新#12がフリースローを決める。日新がインサイドを粘り強く守り、一進一退の攻防が続く。終盤、若水#4の3P、#15がゴール下で得点し、若水38-24日新で前半終了。

3Q、若水#5が連続得点、#7がOffリバウンドから加点し勢いに乗る。20点差となり日新タイムアウト。若水は#6がドライブからシュートを決め、どこからでも得点できる厚い攻めを見せる。対する日新は#5が自らリバウンドを取り得点、更に#6がパスカットから得点に結びつけ反撃する。日新は1-2-1-1ゾーンプレスでボールを奪うがOffでミスが目立ち始める。若水59-30日新で3Q終了。4Q、日新は#4がドライブからうまく相手をかわしての得点や、#6の3Pで追撃すると、若水は#15のバスケットカウントで得点し、お互いに譲らず得点を重ねていく時間帯が続く。日新は外角のシュートで反撃し#10、#9、#6の3Pが決まるも追撃及ばず、若水85-56日新で試合終了。気持ちのこもったプレイを見せ、両チームのよさを発揮した素晴らしい準決勝だった。

【戦評記入者】

馬場 秀則

埼玉県中学校体育連盟 バasketボール専門部